

## 2010年度 第2回 JMRC東北ダートトライアル部会 議事録

2011.1.22 13:30～ 仙台市太白区茂庭 [太白区生出市民センター会議室]

出席者：柳本弘・柳本知・佐藤政（宮城）、須田・佐藤秀（福島）、高橋・佐藤豊（岩手）、野口・日向・松村（青森）、伊藤・加藤・立川（秋田） 山形支部は委任状提出なし

### 0) あいさつその他

- 0-1 今年から事務局長を佐藤政一氏（宮城）から立川敬士氏（秋田）に交代して頂く事に。但し4月以降は部会長の留任が前提。
- 0-2 MSC八戸日向氏から2010全ダの開催に関しての御礼と今年8月7日第五戦の開催に関しての協力の依頼。準備は動き出したところである。
- 0-3 2011年度JAFモータースポーツ専門部会スピード部会委員に決まった柳本部会長からの報告と抱負。

### 1) 共通規則書の内容確認

- 1-1 JAF戦で7戦、JMRC戦で8戦予定されているが有効は70%としてJAF戦で5戦、JMRC戦で6戦を有効とすることとした。
- 1-2 SA+SC=S部門とし休眠中の改造車等をイベントに参戦して貰いたい。  
※車検が切れた状態のSA車両の扱いをどうするのか？  
（基本的にはダメ。後は主催者判断とする。）
- 1-3 受理書の取り扱いはどうするのか？  
※メールでもテによる発送・告知でも構わない。受付時に受理書の確認はしないことに。  
（あくまでも受理書は主催者の”受理”のお知らせである。）
- 1-4 エントリフィ  
（あくまでもJMRC共済加入スミの確認をすること。）
- 1-5 ドライバーズブリーフィングの参加確認を積極的に。  
（ドライバーの義務である。昨年の全ダで東北の選手がペナルティを食ったのでマナー、意識、向上の意味合いもある）
- 1-6 慣熟走行する場合など  
（公式通知でお知らせ→事前にイベントの特別規則書で告知する。）
- 1-7 計測  
（従来通り1/100計測と1/1000計測とする）
- 1-8 計測ライン前のパイロンペナルティについて  
（ペナルティを取るのが目的ではないので主催者、選手ともに協力して行く事に）

### 2) JAFタイトル外したJMRCチャンピオン戦について

JAFタイトルを外したことで

- ・主催者：運営面で（経費の面でプラス？ 完全クローズド競技でない限りメリット少ない）
- ・選手側：失うものもあるのではないかと？

それに付随して開催数を減らしたら集中して集まるのか？  
（振興策で考えることにする？）

- ・足並みをそろえてからでは遅いのか？  
（現状、かなり難しいと思われる。）
- ・台数減がこのような問題を引き起こしている側面もあるので台数アップについて考える必要がある。

### 3) 2012全日本ダートトライアル選手権東北ラウンドについて

2011は切谷内で開催決定。  
2012はダートラ部会が中心となりSSパークで。

※開催に向けてできるだけ早く会議をしたい。

(切谷内で開催して来た青森ラウンドのお休みについてはMSCはちのへが了承)

※切谷内からSSパークに変更して参加台数を確保して盛り上げたい。  
(東北以南からの選手達の一部では磐越道を利用した場合、丸和よりも近いと思われる。)

※8月の福島は気候的に厳しいので出来れば別な季節で開催したい。

#### 4) 振興策その他

JAF申請(料)に関わる嘆願書などの例はないのか?  
(JAFの運営に関する事で、スピード行事部会で話し合われる内容ではない旨を部会長が説明)

慣熟走行の導入はどうか?

エントリー割引制度の導入はどうか?

学割?(クローズド?)

今後、ハイブリッド車両(AE車両)はどうなるのか? 成り行きを見守りたい。

#### 5) 役員改選について

秋田: 変更なし

岩手: 変更なし

青森: これから支部会開催

福島: 現状のままの予定

山形: ???

宮城: これから支部会開催